日本地球惑星科学連合(JpGU) 大会行動規範

JpGUの「大会行動規範」は、全ての人が安心して参加できるように以下の行動を求めます。この行動規範は、公共施設・民間施設に関わらず、JpGU大会などJpGUが主催するすべての行事に適用されます。

期待される行動:

- 全ての大会関係者(参加者および運営スタッフ)に対して敬意をもって接すること。
- 異文化交流の重要性を意識し、人種・性別・宗教・年齢・障がいなどを理由にいかなる人も排除しないようにすること。
- 大会の参加登録時や大会会場でスタッフやセッションコンビーナーなどから問われた場合には、正しい所属や名前を名乗ること。
- 「日本地球惑星連合大会発表資料取扱規則」*1に示されているように、資料や発表内容のコピーや使用のルールを守ること。
- JpGUの大会会場、そのほかの会場施設、オンライン環境などの利用に際し、使用ルールを守ること。
- もし参加者や主催者がこれらのガイドラインを守っていなかった場合には、守るように皆で注意喚起すること。

*1 日本地球惑星連合大会発表資料取扱規則

https://www.jpгу.org/meeting_j2025/rule/pre_material_policy.html

上記のような期待される行動から著しく逸脱する、あるいは繰り返す場合、会場又はオンラインミーティングから退場していただく措置を取ることがあります。また、迷惑行為の内容によっては、今後のJpGU大会への参加禁止やその他の制裁を受ける可能性があります。

問題となる行為の例:

- 嫌がらせ: 大会会場、オンライン、SNS上での嫌がらせ、差別、脅迫、その他の不適切な行動
- 大会の全ての関係者(参加者、講演者、ボランティア、スタッフ、アルバイト、出展者、事務局など)に対する、口頭や書面などでの不当な行為。これらには人種、性別、性的指向、宗教、年齢、障がい、またはその他の特性に基づく差別をすることも含まれる。
- 研究上の意見の違いに関する個人攻撃
- 対面あるいはオンラインでの脅迫やストーカー行為
- 参加者への妨害行為
- 犯罪行為
- 大会の円滑な運営の妨害
- 身体的あるいは言葉による暴力
- SNSやその他のメディアを使った、参加者の個人的な活動を標的とする、プライバシーや職業上の地位を傷つけたり、誹謗中傷、名誉毀損になりうる行為
- 「日本地球惑星連合大会発表資料取扱規則」*1に示されているように、発表者の許可なく発表資料のコピーをとるなど、著作権の侵害をする行為

問題行為が起こったら

- 問題行為について指摘されたものは直ちにその行為をやめる必要があります
- JpGU 事務局、大会運営委員会は、問題行為を行っている人に対して警告や大会参加費の払い戻しをすることなく即刻大会会場から退場させるなど、必要な行為を行うことがあります
- JpGU 事務局および大会運営委員会は、大会行動規範の違反が起こった場合、大会関係者の安全確保のため、またさらなる問題が起こらないために、必要な措置を講ずる責任と権限を有します
- JpGU は問題行為を行った者に対して、今後の大会への参加を禁止することができます
- そのほかの詳細は「公益社団法人日本地球惑星科学連合倫理規則」*2 に従います

*2 公益社団法人日本地球惑星科学連合倫理規則

https://www.jpгу.org/wp-content/uploads/2020/07/jpgu_rinrikisoku.pdf

JpGU の大会参加者は、参加登録時に、正しい職業上の氏名、所属、電子メールや電話番号を記載することが求められます。

大会中にこれらの問題行為を目撃した場合には、大会本部(部屋番号 205)もしくはスタッフにご連絡ください。

大会時に、緊急を要しない何かの問題を発見しましたら、専用フォーム(後日オープン)へご記入ください。

オンライン・対面いずれの大会に参加登録する場合にも、JpGU の「大会行動規範」を遵守することに同意する必要があります。

この JpGU 大会行動規範の作成にあたり、AGU (American Geophysical Union) が公開している大会行動規範を参考にしました。